



人間は、進化するだけでなく、退化することもあるの

今の人間が進化をしたら、それは、退化の方向

進化とは、生き物が長い時間をかけて変化していくことをいいますが、この変化というのは、じつは、頭がよくなるとか、足が速くなるとかいった、いいほうにだけ変わるとはかぎらないのです。

体の一部がおとろえたり、なくなってしまうたりする、退化といわれることも起こることが考えられるのです。ですから、今の人間が進化をしたら、それは、退化の方向で起こるだろうと、いわれているのです。

なくなったり、おとろえたりするものは

退化の方向で起こるだろうと、考えられているものに、歯と足があります。

子どもの歯から大人の歯に生えかわると、「親知らず」という歯が、新しく生えてきます。ところが、この歯が、現在、少しずつ退化しているといわれているのです。それは、大人になっても生えない人が増えていて、おそらく、今から数千年後までには、なくなってしまうだろうと、考えられるためです。

また、自動車や電車など、乗り物の発達によって、人間は歩くことが少なくなったため、足が退化するだろうといわれています。使わなければ、足の筋肉や骨も、当然、おとろえていき、退化するだろうと考えられるためです。（監修・保志 宏）

